

2024年度(第4期)事業報告書

2024年4月1日から2025年3月31日

特定非営利活動法人フードバンクふなばし

1 事業の成果

(1) フードバンク事業

【食品の受け入れについて】

2024年度の食品の受け入れ量は、39,604キロ（前年度比116%）となりました。受け入れ量の増加にはフードドライブの広がりがある背景にあると思われます。職場単位または学校単位でフードドライブに取り組むケースが増えています。また新規の企業・団体からの大口の寄付もあり、余剰や賞味期限が近づいた食品や備蓄食品の寄付先としてフードバンクが選ばれるようになってきています。

- ① 個人からの寄付（フードドライブを含む）：6,922キロ（前年度比149%）
- ② スーパーマーケットやコンビニエンスストアに設置したボックスを通じた寄付：5,507キロ（前年度比93%）
- ③ 企業・団体からの寄付：食品会社から店頭にならなくなった食品、市や企業の災害備蓄食品の入れ替え時の提供は27,175キロ（前年度比115%）

市場での米の流通量が減り、秋に2024年産の米が収穫されても前年産の米が集まらず、その後も米の寄付がないままでした。子ども食堂等へ提供する米の量を減らさざるを得ず、とうとう2025年の2月には米の備蓄が底をつくというタイミングで政府備蓄米の提供が決定しました。

【食品受領実績】

	件数	重量(Kg)
きゃろくんボックスほか	91	5,507
個人	221	3,669
企業・団体	291	27,175
フードドライブ	89	3,253
合計	466	39,604

【地域への活動支援】

集めた食品を有効的に活用するために子ども食堂や母子生活支援施設等の団体への食品の提供を行いました。2024年度は403団体（前年度比120.6%）へ16,349キロ（前年度比113.4%）の食品を提供しました。船橋市内の子ども食堂は40か所近くあり、その多くがフードバンクふなばしを活用しています。主に米、そして調味料、お菓子などを提供することでその活動を下支えしました。さらに母子生活支援施設、自立援助ホーム、夜間中学校、定時制高校、生活困窮者支援団体等多くの団体へお菓

子や食品を提供しその活動を食の面から支援しました。

(2) 食のセーフティーネット事業

食品や生活必需品や光熱費の相次ぐ値上がり、なかでも米の価格高騰は多くの人々に影響を及ぼしています。2024年度に関係機関と連携して支援した家庭および個人は1,509件となり前年度比94%となりましたが、この減少はパントリーピックアップの申し込み方法の変更による一時的なものです。

【個人家庭への配送支援】

船橋市の相談窓口から支援依頼があった家庭への食品配送は2024年度789家庭で前年度から52件増加しました。保健所の保健師からの依頼、在宅介護支援センターや地域包括支援センターからの依頼が増えたことが特徴的でした。また外国籍の方の支援も増えています。粉ミルクを民間の助成金で購入したほか、こども家庭庁の補助金を活用して食品の購入も積極的に行いました。

【パントリーピックアップ】

毎月金杉と習志野の2会場で予約制にて行う、ひとり親家庭を対象とした食品手渡し会（パントリーピックアップ）の参加は720家庭となり、前年度比83%と大幅に減少しました。4月から申し込み方法を変更したことに加えて、利用回数に制限を設けたことが要因です。2024年10月からは回数制限をなくし、前年度と同水準の利用人数となっています。薬円台地区社会福祉協議会の方々はじめ、パントリーピックを手伝いたいという方々にご協力をいただいています。また地域の方からの野菜や果物、卵という寄付もあり成り立っています。

【食品支援実績】

	件数	重量(Kg)
個人支援	789	12,897
パントリーピックアップ	720	8,606
団体支援	402	16,350
合計	1,945	37,853

(3) 次世代を担う子ども達への啓蒙活動

フードバンクふなばしでは次世代を担う子ども達が食品ロスやフードバンクの活動を自分ごととして考えてくれるような機会を作ることがフードバンクの役割であると感じています。2021年から継続している事業として10月の食品ロス削減月間には、船橋市内の全55小学校・26中学校の児童・生徒および教職員に向けて『食品ロスってなに？』のチラシ約53,000枚を配布しました。食品ロスを身近なことととらえてもらい、何ができるかを自ら考えるきっかけになることを目指しています。

6月と12月には八千代市と船橋市の小学校にて出張授業にも取り組みました。5年生を対象とした授業では、フードバンクに集まった食品の福祉的な活用についても触れました。両校ともその後に校内でフードドライブを開催し、集まった食品を寄付してくれました。

(4) 広報活動

6月に船橋市北部清掃工場余熱利用施設メグスパにて、寸劇も交えたフードドライブ学習会を開催しました。5月には船橋西ロータリークラブ、10月には千葉経済短期大学、プルデンシャル生命保険株式会社船橋中央支社、11月には千葉県協同組合間提携女性交流会、船橋南ロータリークラブで講話をしました。また9月には第57回ふなばし市民まつり、12月には第10回ひがふなフェスタ、第16回市民活動フェアに出展して広報活動を実施しました。

広報紙『かなすぎレター』10号、11号を作成して、支援者、関係機関、利用団体に配布し日頃の活動報告を行いました。

(5) 県内フードバンクとの連携

2ヶ月に一度開催される千葉県フードバンク団体連絡会の定例会議に参加しました(5月7日、7月3日、9月24日、11月22日、1月27日、3月4日)。2024年度にフードバンク手賀沼が発足し、連絡会の仲間入りをしました。

(6) その他の外部活動

【会議参加等】

県内生協と県内フードバンク合同フードドライブ実行委員会

千葉県フードバンク団体連絡会

ふなばし子ども食堂ネットワーク会議

定時制高校生支援プロジェクト会議

船橋市生活困窮者支援官民連携プラットフォーム会議

県立生浜高校居場所カフェ運営委員会

市民ネットワーク千葉県助成金審査委員

他、ケース会議

【講演、授業等】

船橋西ロータリークラブ例会

八千代市立大和田西小学校

プルデンシャル生命保険株式会社船橋中央支社

千葉経済大学短期大学

第29回千葉県協同組合間提携女性交流会

船橋南ロータリークラブ例会

船橋市立宮本小学校

【イベント出展】

JR西船橋駅フードドライブ、千葉ジェッツふなばしフードドライブ、第57回ふなばし市民まつり、

第16回ふなばし市民活動フェア、第10回ひがふなフェスタ、カラフルフェス in ららぽーと

TOKYO-BAY&ビビット南船橋

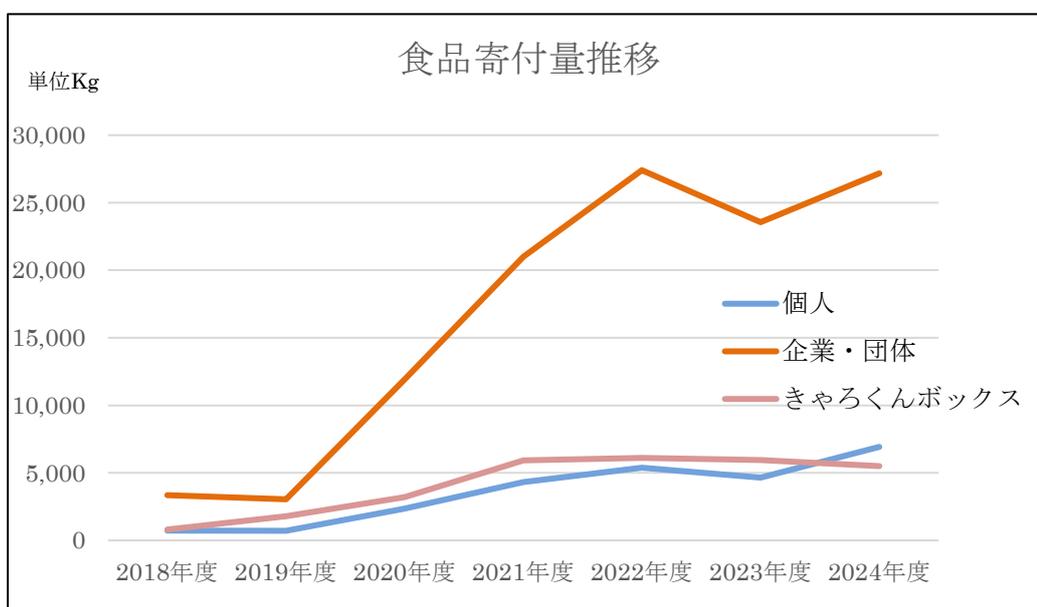
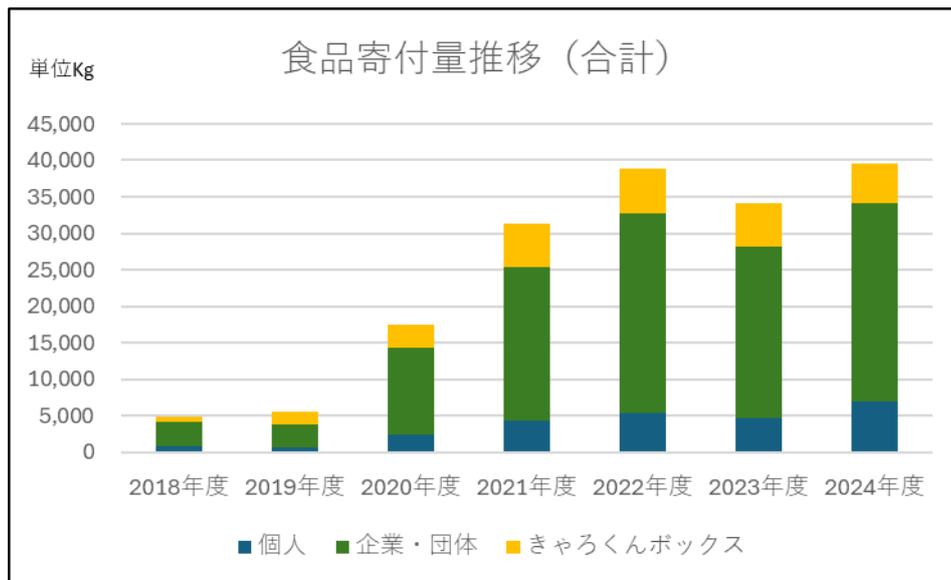
【研修受講】

農林水産省フードバンク活動強化に向けた専門家派遣等委託事業のうちファンドレイジング実践講

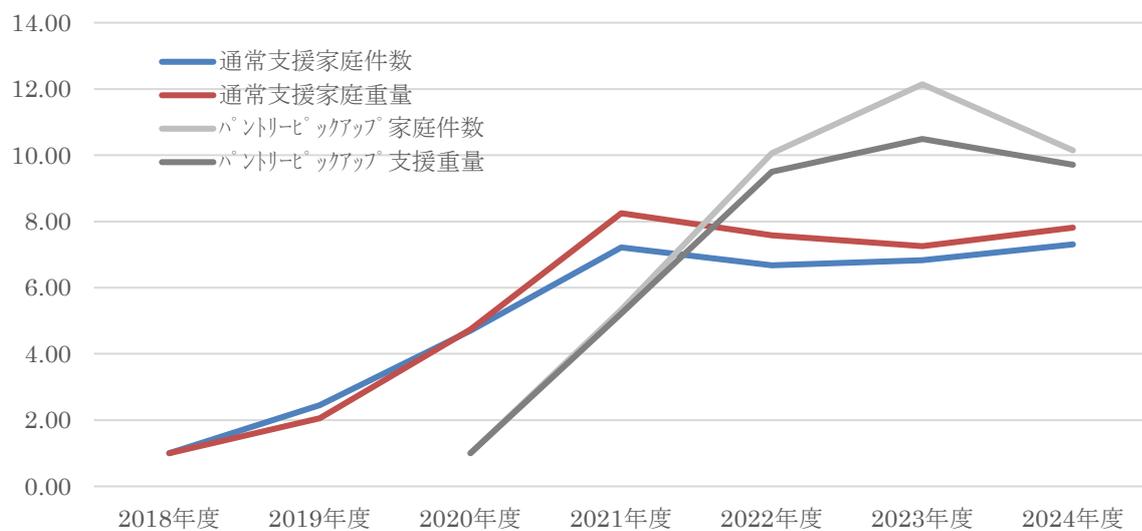
座、農林水産省フードバンク活動強化に向けた専門家派遣等委託事業のうち食品衛生管理指導、船橋市心のサポーター養成研修

(7) 活動スタッフ紹介

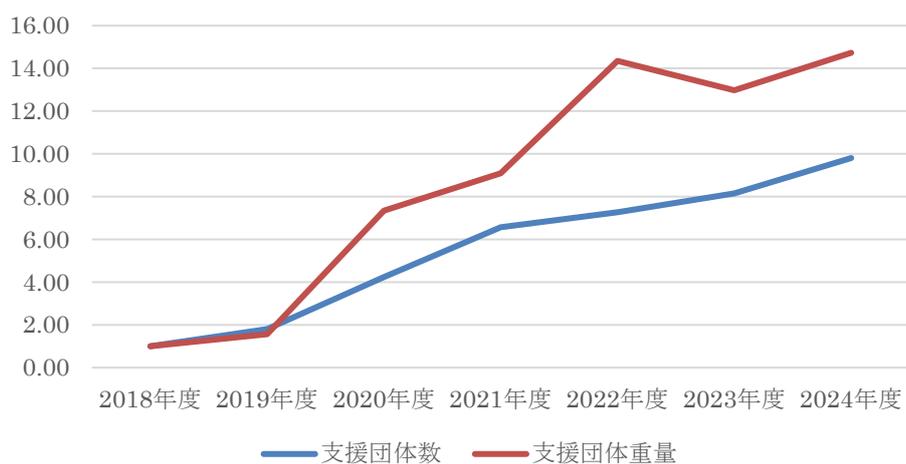
常勤スタッフ	3名	
配送作業スタッフ	8名	
仕分け・棚卸し作業スタッフ	4名	
食品回収スタッフ	5名	
パントリーピックアップスタッフ	2名	
広報スタッフ	2名	合計 24名
理事・監事	7名	



個人支援実績推移 (初年度を1とする)



団体支援推移 (2018年度を1とする)



2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲および人数
フードバンク事業	① 個人からの持ち込み郵送寄付 ② 食品寄付ボックスを通じた寄付 ③ 企業・団体からの寄付 ④ 船橋市や千葉ジェッツふなばし、JR西船橋駅と連携したフードドライブ ⑤ 施設・団体への食品提供	2024.4.1 ~ 2025.3.31	①金杉事務所 ②市内外スーパーコンビニ22か所、市役所資源循環課、メグスパ ③金杉事務所 ④船橋市公民館26か所。船橋アリーナ。JR西船橋駅。メグスパ。 ⑤金杉事務所	① 8名 ② 5名 ③ 8名 ④ 10名 ⑤ 8名	①～④船橋市内の市民、企業、団体 ⑤船橋市内外の子ども食堂利用者、母子生活支援施設利用者、自立援助ホーム利用者、児童養護施設利用者、県立生浜高校生徒、県立船橋北高校生徒、県立大宮高校生徒、夜間中学ふなら～ん生徒等。 年間403団体
食のセーフティネット事業	① 配送による支援活動 ② ひとり親を対象とした食品支援会	2024.4.1 ~ 2025.3.31	①金杉事務所 ②金杉事務所および船橋市母子・父子支援センター	① 11名 ② 10名	① 船橋市内の在住の生活困窮者789家庭 ② 主に船橋市在住の児童扶養手当時受給中のひとり親720家庭
啓発活動・広報活動	① 食品ロス削減啓発チラシ配布 ② 市内外の小学校、県内の短期大学、市内のロータリークラブ、企業での講話 ③ 団体活動紹介三つ折りリーフレットおよびかなすぎレターの配布	① 2024.10.1 ~10.31 ② ③ 2024.4.1 ~ 2025.3.31	①船橋市内の全小学校、中学校 ②船橋市内および千葉県内 ③主に船橋市内	①4名 ②2名 ③5名	①船橋市内の児童、生徒、教職員約53,000人 ②金杉台小学校の2年生、宮本小学校5年生、千葉経済大学短期大学学生約100名、市内ロータリークラブ会員約30名、市内に事務所のある企業の社員約30名 ③三つ折りリーフレット配布約5,000人、かなすぎレター配布約2,400人

(2) その他の事業 なし